



ご挨拶

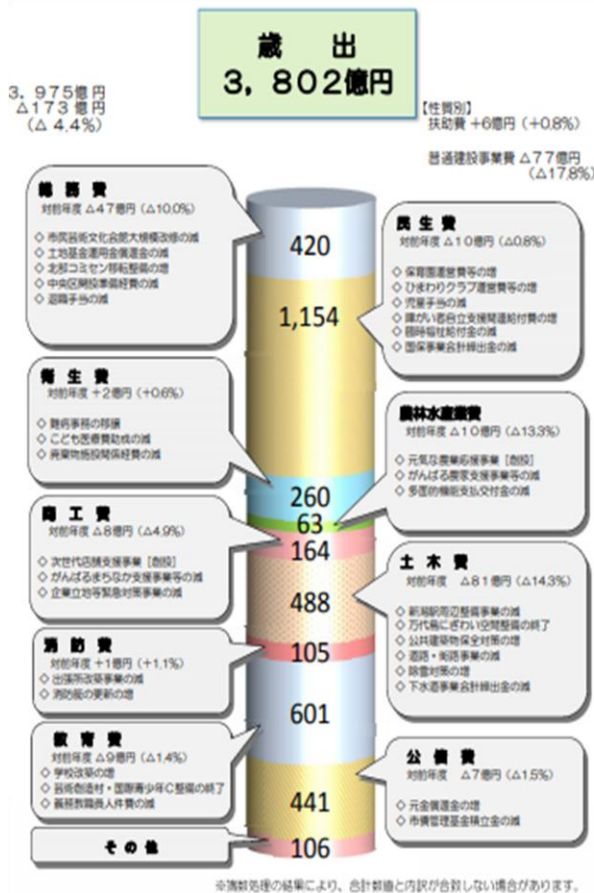
新潟市議会議員たむら要介議会活動報告をお届けさせていただきます。今号は昨日閉会しました2月定例会の議会のご報告を中心とさせていただきます。予算も成立し、いよいよ平成30年度が始まります。私も4年任期の最終年を迎えます。初志を忘れず議員活動に精進させていただきたく所存です。

新潟市議会議員 田村要介

2月定例会、議会での主な論点

30年度、一般会計3,802億円		1,504項目事業点検、見直しの影響	
財政	財政健全化最重視	基金2億増し	行財政改革
市民厚生	財政見直しの影響	超少子高齢化	地域、協同
教育・労働	多忙化	働き方改革	担い手不足・人材確保
農業	がんばる農家が元気な農業に	平成30年問題	米と園芸
経済	企業立地、8地区を選定	ICT	空港活性化
都市	シニア半割	新潟駅周	中央環状道路
	地域交通	空き家	断水
文化	開港150周年	水と土の芸術祭	ノイズム
	芸術創造村	大かま	りゅーとぴあ

平成30年度予算が成立いたしました 新潟市議会ホームページで議会をご覧ください



苦渋の「賛成」

昨年11月、「119億の財源不足」と「33億となった基金」の突然の本市発表が、新聞等で報じられました。我々議員が知ったのも、その数日前のこと。ようやく上向きの風を感じた本市の景気の「気」に水を差したこの発表が、一般市民に対し、本市の財政が救急車でも呼ばないと倒れてしまうのではという印象を植え付けたことは、我々議員にとっても衝撃でした。基金の減少については、突然、降って湧いたものではありませんが、今までの説明と大部違う。

1カ月にわたる攻防の末、平成30年度予算が成立いたしました。1,504項目の事業点検により約46億円の「見直し効果？」をねん出、中には生活に直結するであろう削減も散見されるなか、市民サービスは落とさないという担当課の苦心した説明が本当に空しく聞こえました。ただ、敢えてこの事業点検の詳細を、予め議会側に提示したことが、議会、各常任委員会での大激論に繋がったことは間違いありません。その点においては、本市の姿勢は評価すべきものであったと判断します。

だからという訳ではありませんが、私は、議員の責任、重みを痛感しながら、苦渋の決断となりましたが、本予算を含めた議案に賛成をいたしました。

確かに基金の枯渇という観点から言えば「財源不足」は否めませんが、本市の財政は本当に危機的状況なのでしょうか。基本的な財務指標は決して悪くない数値のはずです。あまりにもプライマリーバランス（財政の均衡）に捉われ、「無駄使い」という言葉に本市自体が委縮してしまっているのではないのでしょうか。報道等でやられっ放しの議員側も然り。実はそのことの方が怖いのです。行政、議員が何もしないこと、本当はこれが一番怖いのです。将来に過度な負担を残すことは私も反対ですが、ここは日本海唯一の政令市。新潟の活性化に向けたチャレンジ、この投資は決して無駄なものではありません。

厳しい財政状況化においてもその姿勢がなければ、新潟は本当に沈んでしまう。私はそう判断いたします。



たむら要介

昭和43年6月生まれの49歳
新潟市議会議員1期目。
新市民クラブ所属/
環境建設常任委員会副委員長
農業活性化対策特別委員会所属

【プロフィール】

坂井輪中学校、新潟高校、青山学院大学卒業
地元建設会社、衆議院議員秘書を経て市議会議員に
坂井輪、寺尾、浦山を経て現在は中野小屋に移住
笠木農家集落の一軒家で3世代同居中です。

*この活動報告は政務活動費を使用しております。
手作りの活動報告ですので、ご了承ください。

「これは諦めろということなのでしょうか。新潟観光のために何とか死守していただきたい」

◆平成29年9月一般質問
S L の高架駅ホーム乗り入れについて

JRはSLばえつ物語号が高架となる新潟駅への乗り入れを行わないという方向性で調整を行っています。新しい新潟駅が拠点性を失ってしまうのでしよう。市長からも前向きに意見交換をおこなうとの答弁をいただきました。

「あのときやっておけばよかったと皆さんそう思いませんか。つなげなくて良かったなんて人はいないでしょう」

◆平成29年9月一般質問

新潟空港への新幹線の折入れについて
新潟空港への新幹線乗り入れについて、空港アクセス協議会はこの問題をやはり棚上げいたしました。そもその活性化が先ということでしょうか、やりたいのかやりたくないのか位ははっきり明言すべき。

「米をつくり過ぎが進んだ場合、どういことが起きるのか、なぜ本市の農業を守らなければいけないのか。徹底的に説明すべき」

◆平成29年6月一般質問
いわゆる減反廃止について

米中心の本市農業にとって、いわゆる生産調整の廃止は米の過作を招く。これが起きた場合、本市農業にどういことが起きるのか。市民にどう影響がおきるのか、これを丁寧に説明しなければいけません。

「その時に「あささ」とならないように、機運を醸成し続けなければいけません」

◆平成29年6月一般質問
NPBプロ野球誘致について

プロ野球の追加4球団構想に新潟が入っているってご存知でしょうか。沖縄、松山、静岡、そして北信越。金沢に取られぬよう、しっかり今から連携する必要を訴えました。本市も積極的な誘致を宣言し、報道もされています。



「地域からこの声があがっていることも忘れてはいけません。何か起きてからでは遅いのです」

◆平成29年6月一般質問
地域防犯カメラの設置について

防犯の観点から、地域の防犯カメラ設置の要望が出ています。プライバシー、人権よりも、市民の生命、財産を守ることが第一優先である。そのことは忘れてはいけません。

「それでは目を閉じてお聞きください」

平成29年度一般質問

2月「シニア半割を活かせ。健康寿命No1の都市像」
6月「新潟を緑で繋ぐ、都市緑化フェア誘致について」
9月「新潟駅の未来像」

「それでは目を閉じてお聞きください」これがわたらの一般質問の定番となりつつあります。未来像を伝えること、想像を共有すること、これが都市創りの大切なことなのです。私のホームページをご覧ください。

4車線化は地域の悲願。中央環状の価値を高めるためにも重要なポイント

◆平成29年2月一般質問

新潟西バイパス曾和IC先複線化について
新潟西バイパス曾和IC先、田島交差点を挟んでの慢性的な渋滞は、年々激しさを増し、4地区コミ協から改善の要望が提出されています。中央環状道路との結節にも、重要なポイントです。

「木造家屋耐震化工事の代理受領制度を導入」

◆平成28年9月一般質問

家屋の耐震化を進めるために昨年議場で訴えたこの制度が、本年8月より、政令市で初めて導入されました。本市の助成金を代理で業者が受領するという制度です。これは高齢者の高額な立替を抑えることと、業者の営業手段にもなる両者両得の制度です。既に3件、本制度が利用されました。

2月定例会一般質問、本市主導の文化施策について

もうすぐ、篠田市長の出発点、原点を知らない世代が新潟市を背負う時代になってきます。市長が十六年かけて醸成したものを、将来の子どもたちに遺し、繋ぐことが本当に大切だと考えるのであるならば、どうすれば良いのか。また「開港150周年」「みずつち」など、次年度の大切なイベントを、より多くの市民から、心からお祝いし、楽しんでいただくためには、どうすれば良いのか。

そういう意味で、市長は、財政難に直面している局面で、本市の文化施策の今後について、市民に対し、強いメッセージを発信する必要があると思います。市長が創ってきた「文化創造都市、政令市新潟の未来像」それを守っていくことが本当に大切ならば、市長の姿勢で市民に、そして我々に伝えなければいけない。

そうしなければ、未来には繋ぐことはできない。私はそう思いますが、市長、如何でしょうか。

（前略 以下、発言のまま）

なんとかやりくりをしながら、頑張っている方々に冷や水をかけてまで、皆さまが守るべき「文化創造都市」とは一体、何なのでしょう。

事業見直しによって削減された四六億円。そこから生ずるハレーションが、本市主導の様々な文化施策を襲うでしょう。文化やスポーツが出過ぎると、厳しい時には矢表にたつことになり。民間企業のクラブ、特にスポーツ関連を見れば簡単に解ります。だからこそ、本市の目立ち過ぎる文化施策、部局の構成は間違っているのではないかと。今回はそういう主旨で質問させていただきます。

市民による市民のための文化、これからの特に厳しい荒波を乗り越えられるものこそ、本当の文化として定着していくのではないのでしょうか。今までそれを乗り越え、継承されたもの、これが各地の祭りであり、踊りであり、日本海コンサートやジャズフェスティバルであり、古町芸妓であり、凧であり、綱車であり、酒の陣であり、光のページェントなんです。スポーツで言えば新潟シティマラソンであり、五十年以上も続いている早起き野球などではないでしょうか。

2月定例会で行った一般質問が、翌日の新潟日報さんの記事となって掲載されました。上手く纏めていただいた記事なのですが、「財政難なのに文化めだつ」「教育助成など見直しに疑義」との見出しが一部誤解を生んでいるようです。その部分の私の市長に対する原文を掲載させていただきます。



議会発言主旨
2月定例会一般質問原文



市議会議員たむら要介事務所

〒950-2162 新潟市西区五十嵐中島4-23-8 Tel 025-378-0592 Fax 378-0598

(新潟西高校さんバス停の前となります。ご意見、ご要望承ります。お気軽にお越しください)

ホームページやっています。「たむら要介」で検索！